

## 雲仙温泉歴史探訪コース：弘法大師空海像

島原半島には宗教的激変の長い歴史がある。この地域は、700年頃は、大規模な仏教の共同体であったが、1500年代後半にキリスト教に改宗し、有名な僧侶、空海(774-835)の石造のような宗教的な象徴はクリスチャンと仏教徒の衝突によって、破壊された。島原反乱(1637-1638)は、日本のキリスト教人気を終焉させ、仏教が宗教的支配を取り戻した。

空海の像の斬首はこれで終わらなかった。神道と仏教は、江戸時代(1603~1867)に織り交ぜられた信仰体系として最も熟練されていたが、1868年に、新しい明治政府は神道基盤の宗教を打ち立てるために、神仏分離を命じた。これ以前に、神道と仏教はひとつの入り混じったものとして信仰されていた。2つの宗教を分離することでしばしば暴力行為が生じ、多くの仏像・仏具が破壊されるか失われた。

この空海の石像は修復されたが、この地域の無数の他の像の頭がまだなくなったままであり、島原半島の混乱の過去を今に伝えている。